

○第50回黒部川ダム排砂評価委員会（平成31年3月15日）

評価

連携排砂実施計画（案）、平成31年度連携排砂計画（案）及び連携排砂に伴う環境調査計画（案）については、了承する。

117万 m^3 の土砂を排出した平成30年度の連携排砂の実態に鑑み、土砂動態の予測・評価手法の向上に努めるとともに、連携排砂に伴う環境調査を適切に実施・評価すること。

河口から相当離れた海域や深海については、これまで調査範囲に含まれていなかったが、関係者の意見・要望を踏まえ、深海の底質調査については、海洋地質や漁業等の専門家の意見を伺いながら、関係機関・関係団体とも相談した上で実施すること。

排砂時の環境負荷を分散させ、下流河道への土砂堆積を低減させるため、黒部川ダム排砂における連携操作の検討案については、引続き、宇奈月ダムから河口までの土砂動態が自然に近い形で実現できるよう検討を進めること。